

《佐倉市総合計画策定》

まちづくり懇談会《第2回》プログラム

懇談会の目的

佐倉市の新しいまちづくりの提案

■ 第1回懇談会の結果(課題・問題点&いいところ)を踏まえ、佐倉市の新しいまちづくりの提案を行うこと

■ 提案していただきたいこと〈提案検討事項〉

① 佐倉市の将来像・まちづくりの方向

- こんなまちにしたい・住みたい、こんなまちを目指そう
- こんなまちづくりをしよう
(「課題・問題点」を解決・改善し、または「いいところ」を活かして)
(注) 表現・表記の仕方は自由です

② まちづくりの方策

- 上記①のまち(まちづくり)を実現させるためにこんなことをしてはどうか
- 「課題・問題点」の解決・改善のためにこんなことをしてはどうか
- 「いいところ」を活かす(伸ばす)ためにこんなことをしてはどうか
(注) 「こんなこと」は、大きなことでも小さなことでも何でも自由に(抽象的でも結構です、可能なものは具体的に)

③ 市民参加・協働のあり方

- 新しいまちづくり(上記①や②の実現)のために、市民ができること・参加できることは何か
- 市民と市がいっしょにできることは何か
- どのように参加・協働すればよいか、役割分担をどうするか

■ 提案の仕方は自由

- ①のみ、②のみ、③のみでも結構ですし、①+②あるいは①+③、②+③、①+②+③など、自由にご提案ください

手順・流れ

※限られた時間での進行となりますので、
ご協力のほどよろしくお願いいたします

【計 110 分】

●手順・流れ等の説明	5分
1. 第1回懇談会の振り返り〈結果概要の報告〉	15分
①グループワークのまとめから ②アンケートのまとめから	課題・問題点&いいところ
2. グループワーク1〈提案ラベルの作成&貼り付け〉	20分
◇ 佐倉市の新しいまちづくりに向けた提案をラベルに記入 —提案検討事項①、②、③について、単独でも、複数の組み合わせでも、形式にとらわれず何でも自由に提案 —ラベルに自分の考え・アイデアがうまく伝わるように記入してみてください	
●トイレ休憩書き終わった人から随時	5分
3. グループワーク2〈意見交換&提案のまとめ〉	50分
①意見交換〈紹介&質疑・フォロー〉 …各人：時間厳守！ —各自が最も強調したい提案をグループメンバーに紹介 —発表者の提案・意見を高める方向で質疑・フォロー (一通り全員が終了⇒追加の説明・質疑・フォローを自由に)	25分 1人4分 紹介3分 質疑1分
②提案のまとめ〈最後に各グループで発表/3提案程度〉 —似たような提案をグループ化 —グループで発表する提案を 3つ(以内)選定・絞り込み —選定した提案について発表内容(ポイント)をまとめる ※実現化に向けた課題や市民参加・協働の視点があれば一緒に提案してください (時間が余ればその他の提案についてもまとめてください) ☆ 発表者 ：グループを代表して1名または各提案ごとに1名(計3名)を決めておいてください	25分
4. 発表	15分
◇上記3でまとめた提案(3つ以内)について発表する —代表者(1名または提案ごとに別の発表者) … 時間厳守	1G=5分

ポストイット (ラベル) の記載・貼付要領

1. 書くこと

- ・ 佐倉市の新しいまちづくりの提案 (1 ページ参照)
- ・ 形式は自由 (タイトルと内容に分けても内容のみでも)

2. ルール

- ・ 1 枚に1つのことを書こう (なるべくコンパクトに要点を書く)
- ・ 1 枚で足りない場合はもう 1 枚を下に継ぎ足して書こう

3. 書いたら貼ろう!

- ・ ルールどおり書いたものを模造紙の該当するスペースに貼ろう

4. 自分の意見をグループのメンバーに話してみよう!

- ・ 一人ずつ、順番に、最も強調したい提案をメンバーに紹介しよう
- ・ 一人 3 分以内 で全員が紹介しよう (質疑・フォローを 1 分以内)
- ・ 他人の提案をよりよいものに高めるための質疑・フォローをしよう

5. グループングしてまとめてみよう! & 発表準備!

- ・ 同じような提案を近くにまとめてグループ化してみよう
- ・ 発表する提案を 3 つ (以内) 選定・絞り込みしよう
- ・ 発表する提案の内容をまとめよう (発表準備)
- ・ 発表者を決めよう (代表 1 人でも提案ごとに異なる人でも OK)

	都市	医療・福祉	教育・歴史・文化	産業	環境・自然	その他					
	道路、公共施設、防犯・防災	交通、上下水道、駅前開発等	高齢者福祉、障害者福祉	医療(救急医療)、健康づくり等	幼児教育、学校教育、生涯学習	子育て支援、歴史・文化活動	商業、工業、農業、観光	就業の場、コミュニティビジネス等	自然、緑・沼・川、公園	環境、リサイクル、地球温暖化等	住民参加、住民自治、行財政等
提案全般	(提案タイトル or 事業名等) (提案内容)			1枚で足りない場合はこのように上下に継ぎ足す(少し重ねて貼る)							
市民参加協働	(提案内容)										

ポストイットへの記入例

ジャンル：

1. 都市、2. 健康・福祉

課題・問題点：

高齢者の移動、超高齢社会をにらんだ移動手段の確保

提案タイトル：

佐倉市循環バスの路線を増やすための、バス停オーナー制度、循環バスサポーター制度の導入の検討

提案内容

高齢者の場合、行きたい場所は、駅、病院、買い物、公共施設などであるが、バス路線の減少や便数の減少により、需要と供給が合わないケースが多くなってきている。

そのような路線バスを補完する形で、佐倉市循環バスが運行されているが、運行されている地域は限られている。

高齢社会にむけて、運行コースや便数を増やしていくことが求められるが、そのためには、運行コストの負担を誰がするのかという問題が出てくる。

そこでバス停の命名権を地元の企業などに売ることにより、コストを負担してもらい仕組みの導入を検討する。販売先は、病院・診療所・商店・金融機関など地元密着の企業を前提とする。また、バスに広告を掲載するサポーター制度も検討する。

その他コミュニティ交通について検討を行う。

例としては、病院、ショッピングセンター、自動車教習所などの送迎バスを、他の移動手段としても使えるようにする。

ジャンル：

2. 健康・福祉、3. 教育・歴史・文化、4. 産業、6. 市民参加・協働・行財政

課題・問題点：

子どもを安価で容易に預けることができる施設がない、元気な高齢者の活用、商店街に空き店舗が多い、活気がない

提案タイトル：

商店街の空き店舗を活用した、子供の一時預かり施設の整備

提案内容：

商店街の空き店舗を活用し、市内中心部に子どもを安心して預けることができるスペースを設け、子どもを安価で容易に預ける場所がないという課題の解消を図る。

重ねて、商店街機能の向上、地域経済活性化を図るとともに、元気な高齢者による親子のふれあいを通じた子育て支援として、たとえばシルバー人材センターが主体となり、商店街等と連携して設置・運営する「子ども広場」に対して支援を行う。

ジャンル：

3. 教育・歴史・文化、4. 産業(観光)

課題・問題点：

歴史・文化が活かされていない

提案タイトル：

歴史・文化遺産を活かした市民参加での観光の振興

提案内容：

佐倉市の場合、資源の掘り起こし、モデルルートの作成、文化財・観光ボランティアガイドの養成などが既に行われており、基盤の整備は進んでいるものとみられる。そこで、この基盤を活かし、集客を増やし、リピーターにつなげていく工夫を行う必要がある。

例としては以下のようなことが考えられる。

- ・JRや京成電鉄とタイアップし、駅からハイキングなどのイベントを、定例的に行う。その際、文化財・観光ボランティアガイドの協力を得て、要所で歴史・文化資産の開放や解説を行う。
- ・歴博などの集客力の強い施設を発着場所とする1時間(武家屋敷や商店街)から半日(武家屋敷・商店街・旧堀田邸)程度のまちめぐりツアーを、文化財・観光ボランティアガイドの協力を得て、週末などに常設する。
- ・このようなイベントの際に、商店街の協力を得て、途中の休憩場所や飲食などの提供により、旧商店街の良さも知ってもらおう。

ジャンル：

5. 環境、6. 市民参加・協働・行財政

課題・問題点：

印旛沼の浄化・水質改善・環境保全、ゴミの分別・回収、地球温暖化防止・二酸化炭素排出削減への取り組みが不十分

提案タイトル：

全世代が参加する環境への取り組み

提案内容：

これらの対応は、各家庭が気をつけるとともに、NPO活動など、市民が共同で取り組まないと大きな効果が期待できない分野である。

より関心を引きつけるために「目新しさ」を念頭に事業内容を検討。

北海道の苫小牧市では、ごみの排出抑制、循環型社会の構築、適正処理のために53もの事業を実施した。

その中に、幼児や小学生、中学生を対象とした事業を入れ込むことで、環境教育の促進を図り、子どもの取り組みにより大人へごみ問題についての意識啓発を図り、効果を上げた。このようなことは本来大人が見本を示すべきことであるが、結果としては、市民全体の意識の向上に結びついた。